

可愛いだけじゃ飼えない

一年 平松瑛人

僕の家の横にはおじいちゃんとおばあちゃんが住んでいる。その家にはロクという犬がいる。

ロクは人にランクをつけていて、僕はロクよりもランクが下だった。触ろうとするだけで吠えたり、唸ったりされた。でも、僕はロクが好きだったから、餌をあげたり遊んだりしてロクのお世話をした。そうすれば、懐いてくれると思ったからだ。でも、毎日世話をしてもおじいちゃんには敵わない。おじいちゃんはロクよりも位が上なんだ。きつと自分の家で飼っていないからだと思いい、お母さんに、自分の家でも犬を飼ってみたいと言ったが、ダメだと言われた。理由は、お父さんもお母さんも仕事で一日中家に居ないし、弟や妹、僕も学校で家に居ないからお世話ができない。一日中一匹で留守番では犬がかわいそうだ。悔しかったが納得した。

犬だけでなく、生き物は世話をしなくてはならない。ただ可愛いだけではダメなのだ。生きていくから、餌をあげたり散歩に行ったりしなければならぬ。調子が悪いときには病院に連れて行き、はいせつの世話もしてあげなければならぬ。大変だからやらない、という選択肢はないのだ。犬は飼いたいが、僕にはまだ無理だと、その話を聞いて思った。

そんな話をした日、殺処分されそうな犬や猫を保護して、里親を見つけないというプロジェクトの話を見てテレビを見た。そのテレビでは、捨てられたり勝手に勝手に増えたりした犬や猫がこれ以上増えないように、きれいにトリミングしたり、避妊手術をしたりして、里親が見つかるまで預かり、世話をしていた。中にはぎゃくたいされたりして、人間のことを怖がっていることを知り、とても残念に思うと同時に胸が苦しくなった。

どうして自分で飼い始めた動物なのに、人間に捨てられてしまうのかを調べてみた。すると、ほとんどが人間の身勝手な理由で捨てられると書いてあった。世話やしつけがめんどうくさい、子供の時は可愛かったけど大きくなったら可愛くなくなったなどの理由だ。捨てられた動物が殺処分されないように保護しようというプロジェクトも行われているが、動物より人間を優先しろという人の意見が多く、動物愛護の予算が二の次になってしまいうそうだ。そして殺処分を無くすには、一人一人の動物を責任を持って飼うという意識が必要だと書いてあった。

動物は可愛いだけでは飼えない、と調べてみたりして思った。僕がもし動物を飼う事になっても命を守る責任があることを忘れないようにしたい。